

テトラパックのベルマーク運動 リサイクル推進ありがとうキャンペーン



栃木県下野市 南河内第二中学校

活動の狙い・ポイント：身近なところからリサイクル 環境問題への関心を高め、社会に貢献する

活動の内容と、その成果

＊ 学校給食の牛乳パックがテトラパックの紙容器であり、次のような収集の流れができており、スムーズに活動している。

- ① 給食終了後、各自がパックを開いてウェットティッシュで牛乳を拭き取る
- ② 福祉委員会の生徒を中心にクラスごとにバケツの中でよく洗って、パックのストロー穴にハンガーのワイヤーを通してベランダにつるしておく
- ③ 翌日には乾くので、紙容器を各クラスの回収ボックスに集めておく
- ④ 福祉委員会の集まりのときに持参して段ボール箱に詰める。

＊ ベルマークポイントで車椅子を購入し、学区内にある老人福祉施設に、毎年3台ずつ寄贈している。施設の代表者の方に来校いただき「贈呈式」を行い、直接生徒たちに感謝の言葉を掛けていただいたり、福祉委員の生徒がときどき施設を訪問して交流活動を行ったりしている。テトラパックのリサイクルによって、自分たちの活動が形となって見えることで、日頃の小さなことの積み重ねが社会に貢献する活動につながっているのだということが実感でき、活動の意識付けになっている。

＊ 保護者の意識も高まってきており、生徒昇降口に設置してある回収箱に、来校したときに持参して入れてくださり、短期間ですぐにいっぱいになってしまう。



給食後、各自が開いてウェットティッシュで牛乳を拭き取る



バケツでよく洗ってからハンガーのワイヤーにストロー口を通してベランダに干す



乾いたパックはクラスごとに保管し、福祉委員会の集まりで専用回収箱に詰める。



全校生徒を代表して福祉委員会委員長から老人介護施設「お達者倶楽部」理事長さんへ車椅子を贈呈。毎年2月頃、3年生の卒業前に行っています。